オープンキャンパス 2016 アジア史企画

アジア史「悪」人列伝

―アジアのお茶を飲みながら―

日　時　8 月 2 日(火)～4 日（木）　会　場　リバティータワー6 階 1064 教室
模擬授業　第一部 10:10～10:40　第二部 11:20～11:50
ガイダンス　第一部 13:20～13:50　第二部 14:30～15:00

８月２日～４日は、アジア史専攻の専任教員が大学で学ぶアジア史について語ります。共通テーマは「アジア史上の『悪』人」です。彼らの活躍を通じて、多様な価値観に彩られた歴史叙述の読み解き方を、アジアのお茶を味わいながら考えたいと思います。

江川ひかり 教授「オスマン帝国をゆるがした『ドラキュラ』とキョセム母后」（８月２日第一部）

「ドラキュラ」のモデル、ヴラド串刺公と後宮（ハレム）で政治を動かしたキョセム母后からオスマン史の国際関係・国内政治の内実を探る。

高田幸男 教授「洪憲皇帝袁世凱」（８月２日第二部）

中国国民党からも中国共産党からも批判される「軍閥」袁世凱。彼は皇帝即位で何を目指したのか。

櫻井智美 准教授「モンゴル帝国の奸臣アフマド」（８月３日第一部）

クビライ時期のモンゴル帝国の財政を掌握し権勢を誇った奸臣アフマドの実態に迫る。

梶山智史 助教「隋の煬帝」（８月３日第二部）

陰謀をめぐらせて帝位を奪い取り、隋朝を滅亡に導いた「稀代の暴君」の実像を解き明かす。

髙村武幸 准教授「宦官と後漢王朝の崩壊」（８月４日第一部）

400 年にわたる漢帝国の崩壊の要因の一つが、宦官の専横とされる。元来身分の低い彼らが何故権力を握り、漢崩壊後まで存在し続けたのかを考える。

寺内威太郎 教授「朝鮮王朝の暴君光海君」（８月４日第二部）

暴君としてクーデタで廃された光海君。彼の実像を当時の国内情勢と国際環境に焦点をあてて探る。

お問い合わせ　アジア史研究室　asiashi@kisc.meiji.ac.jp